

## 地域医療支援病院業務報告書

令和5年9月19日

愛知県知事殿

開設者 住 所 愛知県一宮市桜一丁目9番9号

氏 名 社会医療法人 大雄会  
理事長 伊藤 伸一 印

下記のとおり、令和4年度の業務に関して報告します。

記

## 1 病院の名称等

名 称	総合大雄会病院					
所 在 地	愛知県一宮市桜一丁目9番9号					
診 療 科 名	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、脳神経内科、放射線科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、眼科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、麻酔科、精神科、心療内科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科、形成外科、産婦人科、腎臓内科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
					379	379

## 2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) ICUベッド、シーリングペンダント、人工呼吸器 病床数8床
化 学 検 査 室	(主な設備) 多項目自動血液分析装置、生化学自動分析装置
細 菌 検 査 室	(主な設備) 細菌検査システム、血液・抗酸菌培養装置、インキュベーター
病 理 検 査 室	(主な設備) 生物顕微鏡、マイクローム、自動包埋装置
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台、カメラ
研 究 室	(主な設備) 机、椅子、PC
講 義 室	室数 1 収容定員 150人
図 書 室	室数 1 蔵書数 1600冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 救急車、ストレッチャー付ワゴン車 保有台数2台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積7.48m <sup>2</sup> [共用室の場合] 室と共用

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

## 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日

2 紹介率 60.1% 【資料①参照】

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 (A/B×100)
7,272 人	12,081 人	60.1 %

3 逆紹介率 63.2% 【資料①参照】

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 (C/B×100)
7,640 人	12,081 人	63.2 %

※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。

※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績  
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績 【資料②参照】

- ・ 共同利用を行った医療機関の延べ機関数 1454件
- ・ 申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数 1454件
- ・ 共同利用に係る病床利用率 18.3%

2 共同利用の範囲等

開放病床、PET、RI、MRI、CT、歯科インプラントCT、歯科セファロ、内視鏡検査  
骨塩定量、図書室、会議室、地域医療連携室

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	有	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	事務

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。 【資料③参照】

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
【資料④参照】				

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5床

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
			【資料⑤参照】		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 ( ICU・HCU ) 24床
専用病床	名称 ( ) 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救急外来	484.3m <sup>2</sup>	(主な設備)人工呼吸器、除細動器、シリンジポンプ、超音波診断装置、救急ストレッチャー、全身用コンピュータ断層撮影装置(80列マルチスライス)、放射線一般撮影装置、ポータブル撮影装置、歯科X線装置	可
ICU	314.9m <sup>2</sup>	(主な設備)ICUベット、血液ガスシステム、個人用透析装置、除細動器、人工呼吸器、シリンジポンプ	可
HCU	432.8m <sup>2</sup>	(主な設備)ICUベット、カウンターユニット、シーリングペンダント、シリンジポンプ	可
手術室	938.2m <sup>2</sup>	(主な設備)麻酔器、手術顕微鏡、電気メス、外科用イメージ	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	4,549人 ( 1,965人 )
上記以外の救急患者の延べ数	10,424人 ( 1,298人 )
合計	14,973人 ( 3,263人 )

※ ( ) 内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数 364回(救急車344回、患者搬送車20回)

6 備考

平成29年2月17日 愛知県告示第59号 救急病院等を定める省令に基づく認定  
平成22年4月1日 22医国第95号 救命救急センター指定

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容 【資料⑥参照】

地域の医師等を含めた症例検討会、研修会

医学医療に関する講習会

2 研修の実績 【資料⑥参照】

(1) 地域の医療従事者への実施回数	17回
(2) (1) の合計研修者数	503人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 有 【資料⑪】

(2) 研修委員会の有無 有 【資料⑫】

(3) 研修指導者

氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	備考
			【資料⑦参照】	年	
				年	
				年	
				年	
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
10階 講堂	209.2 m <sup>2</sup>	(主な設備) プロジェクター、スクリーン、音響設備、机、椅子、ホワイトボード、シャウカステン
	m <sup>2</sup>	(主な設備)
	m <sup>2</sup>	(主な設備)

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管理責任者の 氏名、職種、役職等		医 師	院 長
管理担当者の 氏名、職種、役職等		事 務	事務長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法
<p>診療に関する諸記録</p> <p>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約</p>	<p>病院日誌、各科診療日誌は医事課</p> <p>その他診療録に関する物は情報戦略課室内サーバー室</p>	<p>日付順</p> <p>一元番号法による 1患者1診療録</p>
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室
	救急医療の提供の実績	MC 課 MC グループ
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	能力開発室
	閲覧の実績	地域医療連携室
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法  
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏 名		職 種		役 職 等	
			医 師		院 長	
閲覧担当者	氏 名		職 種		役 職 等	
			事 務		地域医療連携課課長	
閲覧場所	地域医療連携室、病棟					
総閲覧件数	医 師	歯科医師	地方公共 団 体	そ の 他	合 計	
	13				13	
閲覧手続の概要	<p><b>【登録医以外】 【資料⑧】</b>          所定様式に必要事項を記入し申し込みいただき、病院長決裁後に閲覧調整を行います。</p> <p><b>【登録医】 【資料⑧】</b>          地域医療連携室に連絡し、患者が入院中の場合は、日程等を調整のうえ閲覧することができる。その他の患者の場合は所定様式による申し出を受けた後、病院長決裁後に閲覧調整を行います。</p>					

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

令和4年度 第1回地域医療支援病院運営委員会

開催日時：令和4年5月12日（木）14：00～15：00

議題：令和3年度実績報告、委員の意見交換、その他

出席者数：13名（委員数 14名）

令和4年度 第2回地域医療支援病院運営委員会【紙面開催】

開催日時：令和4年8月4日（木）

議題：令和4年度実績報告、その他

※新型コロナウイルス感染症まん延のため、紙面開催となりました。

令和4年度 第3回地域医療支援病院運営委員会

開催日時：令和4年11月10日（木）14：00～15：00

開催場所：総合大雄会病院 10階講堂

議題：令和4年度実績報告、委嘱状授与、委員の意見交換、その他

出席者数：12名（委員数 14名）

令和4年度 第4回地域医療支援病院運営委員会

開催日時：令和5年2月2日（木）14：00～15：00

議題：令和4年度実績報告、委員の意見交換、その他

出席者数：12名（委員数 14名）

【委員会名簿 資料⑨参照】 【委員会議事録 資料⑩参照】



患者相談の実績

患者相談を行った場所	外来・入退院支援センター（中館2階・面談室） 各病棟、紹介外来等		
患者相談担当者	氏	名	職 種 役 職 等
			MSW
			MSW
			MSW
			MSW
			MSW
			MSW
			MSW
			MSW
			MSW
患者相談件数	13,448件（延べ）		

患者相談の概要

- 1.受診・入院 82件
- 2.転院・退院 12,465件
- 3.療養生活 419件
- 4.経済 421件
- 5.その他 61件

患者支援の大半を退院や転院相談が占めている。

医療的な側面は看護師が福祉的な側面は医療ソーシャルワーカーが役割分担をしながら患者相談にあたっている。病棟とのカンファレンスにて状態の確認や支援の進捗状況など情報共有を行っている。またPFMにて入院前より、患者の状態把握を行っている。

【資料⑬参照】

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

## 居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

## 居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

- ・協力医療機関にある関係施設との意見交換会をzoomを活用し行った。直接対面ではなかったが、画面を通して顔を見ながらの情報交換を2年ぶりに行うことができた。10施設が参加し、コロナ下での各機関の対応など情報共有した。
- ・市や医師会での研修にて講義や事例提供を行った。市内の医療機関や介護保険関係機関が多数参加され、意見交換を行った。

## 医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

- ・退院前カンファレンス及びサービス担当者会議（21回）
- ・施設保健医療機関との連携・面会（143回）
- ・介護サービス事業所等との連携・面会（221回）
- ・自宅訪問（49回）
- ・地域住民向け出前講座（2回）
- ・地域の医療機関等へ医師勤務表、医師入退職情報、研修会・勉強会の案内を毎月送付
- ・地域の医療機関、施設を担当者が訪問（932回、1日平均4.5件の医療機関・施設訪問）
- ・医療機関及び患者様向けの「つながる医療」「faces」を広報紙として発刊し、院内にも設置
- ・ホームページによる情報発信（更新は随時）

## その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

- ・退院前カンファレンス及びサービス担当者会議（21回）
- ・介護サービス事業者等との連携・面会（221回）
- ・自宅訪問（49回）
- ・地域住民向け出前講座：そこが知りたい在宅療養「最後まで自分らしく過ごすための方法」
- ・医師会研修会：患者の意思を尊重するための支援に係る研修会「病院での意思決定支援の現状」
- ・在宅医療・介護職員他職種連携研修：  
みんなで支え合う医療と介護研修会「他職種が地域と連携を図るには」

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専用の室の名称	地域医療連携室		
担当者	氏名	職種	役職等
		医師 事務	副院長・地域医療連携室長 地域医療連携課 課長

2 病院の機能に関する第三者による評価 【資料⑭参照】

評価を行った機関名	日本医療機能評価機構（認定：第G B 3 5 - 5号） 日本医療機能評価機構（認定：第G B 3 5 - 6号）
評価を受けた時期	認定期間：2017年12月1日～2023年3月8日（2017年12月1日発行） 認定期間：2023年3月9日～2028年3月8日（2023年7月7日発行）

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績

令和4年度は延べ13,448件の相談、支援を行った。昨年度より約1000件増加している。  
コロナの感染状況に合わせて、病院全体で面会が可能な期間があった。そのため感染対策を行いながら家族や関係機関にも来院頂き、直接面接や情報共有、リハビリ見学など行った。

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

- ・肺癌術後経過観察パス【肺癌術後の経過観察や再発などの定期チェック及びフォローを行う】

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- ・パス運用時、患者に地域連携パスの内容説明を行い、理解と同意の上で行う。
- ・パス委員会においても、連携パスの推進・検討会で、連携パスのツール開発及びしくみ作りを行い、地域に浸透するように啓蒙活動を行う。

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

病院ホームページの作成。紙媒体の広報誌を作成。地域医療機関等へ医師勤務表、医師入退職情報、研修会等の情報とともに毎月郵送。各種勉強会開催。

内容等の概要

ホームページは、各診療科の特長や受診方法等を掲載。広報誌は、医師向けと地域住民向けを分けて作成。地域住民向けは、随時、当院の診療状況に応じた内容で情報発信。